

生徒・進路指導論		講義	非常勤講師 新原 将義 非常勤講師 山口 知彦
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	25200304

1. 授業のねらい・概要

(1) 生徒の健やかな人格的発達・成長, (2) 生徒の反社会的逸脱・非社会的逸脱の予防と対策, (3) 生徒の開発的課題への取り組みについての指導的方略を, 学生が自己のものとできるように次に述べる授業を行う。①生徒・進路指導に必要な人格・発達の知見, ②生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術, ③生徒指導・進路指導の事例的検討など。

2. 授業の進め方

講義及び演習。質疑応答の時間を設ける。

3. 授業計画

<p>1. 生徒・進路指導とは(生徒・進路指導の内包と外延)(新原)</p> <p>2. しっかりとした生徒・進路指導が求められる所以(中学生・高校生の進学・就職, 中学校・高等学校卒業生の離職, 高校生・大学生の退学, 小学生・中学生・高校生による校内暴力・家庭内暴力・万引き・いじめ・不登校などについての統計資料と事例)(新原)</p> <p>3. 生徒・進路指導の目的(生徒の健やかな人格的発達・成長, 生徒の反社会的逸脱・非社会的逸脱の予防と対策, 生徒の開発的課題への取り組み)(新原)</p> <p>4. 生徒・進路指導に必要な知見と技術(①生徒・進路指導に必要な人格・発達の知見, ②生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術)について(新原)</p> <p>5. 生徒・進路指導に必要な人格・発達の知見①個人的価値規範体系の発達(新原)</p> <p>6. 生徒・進路指導に必要な人格・発達の知見②精神的自立性・社会的自立性・経済的自立性の発達(新原)</p> <p>7. 生徒・進路指導に必要な人格・発達の知見③論理的思考の発達(新原)</p>	<p>8. 生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術①集団指導・指導について・キャリア形成課題・生きがい観・幸福感・人間観・人生観など(山口)</p> <p>9. 生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術②集団指導・中学校における進路指導(中学校教育と進路指導・進路指導の課題・進路指導の計画の立て方・実践について)(山口)</p> <p>10. 生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術③集団指導・(高等学校における進路指導(高等学校教育と進路指導・進路指導の課題・進路指導の計画の立て方・実践について)(山口)</p> <p>11. 生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術④個別指導(事例研究法・教育相談など)(新原)</p> <p>12. 生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術⑤生徒による自己の生活・進路の問い直し(自己分析・適職開発)と自分づくり・自己指導を育む指導(新原)</p> <p>13. 生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術⑥生徒の問題への取り組みについての指導(友人関係・進路の問題など)(山口)</p> <p>14-15. 生徒・進路指導に必要な指導的知見・技術⑦生徒と教師による問題解決についての指導(いじめ・受験以上, 14回目)・(親子関係の問題など, まとめ以上, 15回目)(新原)</p>
---	--

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

シラバスや参考文献をもとに今回の講義内容を理解しようとの思いを抱いて講義に臨んで欲しい。各講義における受講準備として, 予習を, 1時間程度行ってほしい。各講義の復習を必要に応じて行って欲しい。この復習に最低1時間程度は時間をかけて欲しい。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

授業の冒頭で, 前週に課した小レポート課題について解説を行う。期末テスト or 期末レポートの終了時に課題の解説を行う。

6. 授業における学修の到達目標

授業の各回において取りあげる基礎的かつ基本的な知見を理解し、自己のものとする。

7. 成績評価の方法・基準

10 回程度の小レポート (30%) と期末テストもしくは期末レポートの結果 (70%) を、評価の対象とする。期末テストと期末レポートのいずれを実施するかは、開講形式 (対面もしくはオンライン) によって異なるため、第 1 回の授業内で案内する。

8. テキスト・参考文献

授業で使用するテキストについては、授業内で購入の指示を行う。また参考文献については、都度レジュメに記載を行う。

9. 受講上の留意事項

4 日以上欠席者は定期試験の資格を失う。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。